

▶ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告して設定します。
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 ホームページ http://www.vinx.co.jp ※貸借対照表、損益計算書はEDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同電話照会先	TEL 0120-782-031(フリーダイヤル) ・住所変更のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。 ・未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
上場金融商品取引所	大阪証券取引所 JASDAQ(スタンダード)

Make IT better with VINX

第24期

年次報告書

2012年4月1日 — 2013年3月31日

VINX

株式会社ヴィンクス
本社/〒530-0004
大阪市北区堂島浜2-2-8
東洋紡ビル
TEL.06-6348-8951 (代)
<http://www.vinx.co.jp>

UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザインの
文字を採用しています。

▶ 経営統合によりホームページをリニューアルしました。



当社に関する情報はホームページでも
ご覧いただけます。

<http://www.vinx.co.jp>

VINX

株式会社 **ヴィンクス**
(旧ヴィンキュラム ジャパン株式会社)

ヴィンキュラム ジャパン株式会社と株式会社ヴィクスは経営統合により

新たに“株式会社ヴィンクス”として スタートいたしました。



流通系ITシステムに特化した**業界最大規模**のIT企業の誕生!!

日本の流通・小売業の発展をITサービス面で支えるための企業戦力の飛躍的な増強

- ➔ 流通系ITシステム専門エンジニア 約1,000人規模の体制へ
 - ▶ プロジェクトマネジメント力、コンサルティング力がトップクラスに!!

- ➔ 両社が持つ業界トップクラスの流通系ITシステムの豊富な開発・運用実績が1つに!!
 - ▶ イオングループ様、マツモトキヨシグループ様、サンマルクグループ様、ダイエー様、マルエツ様、セディナ様など

経営理念

人々の暮らしと流通企業のビジネス活動を
情報システム技術で融合し、豊かな社会の実現に貢献します。



事業成長と安定的な収益の両立

代表取締役
社長執行役員
吉田 實



代表取締役
副社長執行役員
瀧澤 隆

2013年4月1日、ヴィンキュラム ジャパン株式会社と株式会社ヴィクスは経営統合し、新たに株式会社ヴィンクスとして発足いたしました。

この統合により、流通系ITシステムに特化した業界最大規模のIT企業の誕生となりました。

両社は共に創業以来、流通小売業界のシステムの企画、開発、保守、運用を一貫して手掛けるITのエキスパートとして現場に密着した企業であり、そのDNAを融合し、お客様へのサービスと品質の更なる向上が実現できるものと確信しております。

「人々の暮らしと流通企業のビジネス活動を情報システム技術で融合し、豊かな社会の実現に貢献します。」という経営理念のもと、時代の変化に常に挑戦し変革する姿勢を忘れず、引き続き時代にふさわしい価値を創造できるようにベストを尽くしてまいります。

そして、お客様、株主の皆様、ならびにすべてのステークホルダーの皆様に一層の信頼を頂き、グローバル企業としての成長を加速し、皆様の期待に応えてまいります。

今後とも一層のご指導とご支援を賜りますよう、引き続き宜しく願いいたします。

アジアにおける流通ITのリーディングカンパニーへと飛躍するための“新生ヴィンクス”の経営戦略

このたび、当社は、経営統合により強化された競争力のもと、流通系ITシステムに特化した業界最大規模の企業“新生ヴィンクス”として2013年度をスタートするにあたり、売上高・利益面ともに既存の中期経営目標値を上回る数値設定が可能であると判断したため、既存の中期経営目標値を見直し、新たに2013年度を初年度とする中期経営計画(2013年度-2015年度)を策定することといたしました。

本中期経営計画に基づき「アジアにおける流通ITのリーディングカンパニーを目指す」を経営ビジョンとして、経営統合により強化された競争力のもと、更なる事業成長と安定的な収益の両立を図ってまいります。

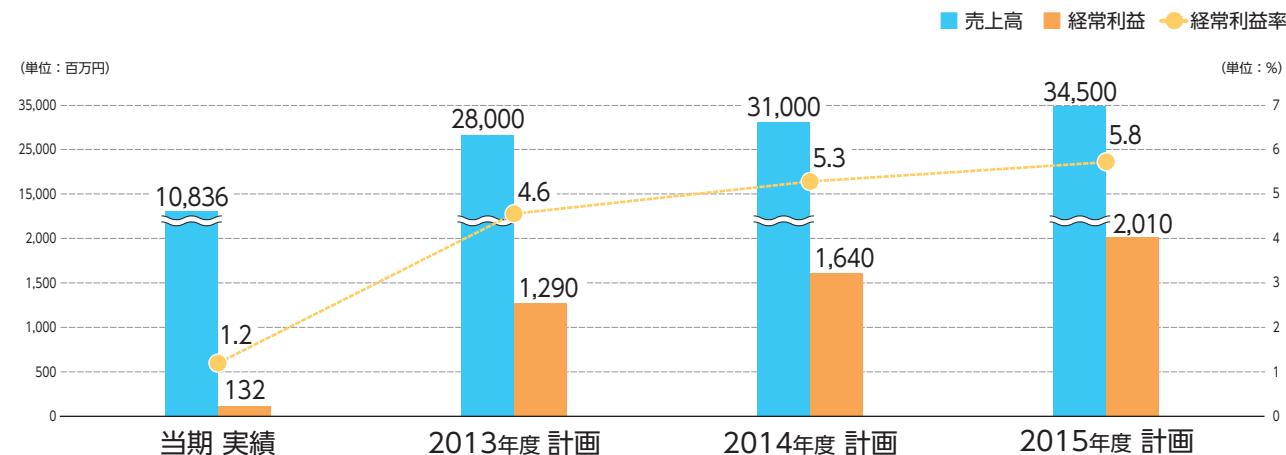
経営ビジョン

アジアにおける流通ITのリーディングカンパニーを目指す

経営目標

- 売上高成長率10%以上
- 利益率の向上

→ 中期経営目標値(連結)



→ 中期経営計画 5つの基本戦略

事業拡大に向けた「特定顧客化戦略」「グローバル戦略」「商品・サービスの差別化戦略」の既存の3つの基本戦略と、収益向上に向けた「プロジェクトマネジメント及び品質管理の強化」「経営統合に伴う効率的な事業運営体制の実現」の新たな2つの戦略により、事業成長と安定的な収益基盤確立の両立を目指してまいります。

事業成長と安定的な収益基盤確立の両立

売上高成長率 10%以上

利益率の向上

戦略 1 特定顧客化戦略

1. 特定顧客事業の拡大
2. 新規特定顧客の開拓
3. ストックビジネスの拡大

戦略 2 グローバル戦略

1. ベトナム現地法人の設立
2. IT運用サービスの拡大
3. 中国・アセアン地域における現地法人向けサービスの拡大

戦略 3 商品・サービスの差別化戦略

1. 製品・サービスのラインアップの拡大
2. 流通システムのクラウド化
3. グローバル展開に対応した商品化及びチャネル販売の確立

戦略 4 プロジェクトマネジメント及び品質管理の強化

戦略 5 経営統合に伴う効率的な事業運営体制の実現

アウトソーシング分野

システム運用・管理サービス、ソフトウェア保守サービス、ヘルプデスクサービス、ASPサービス等

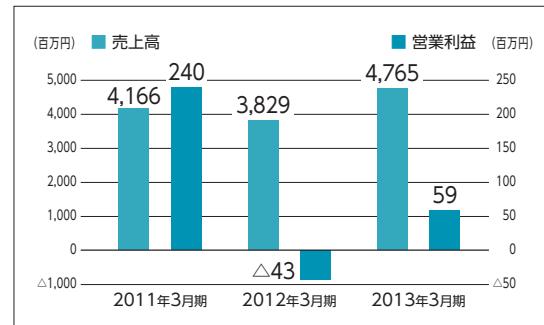
- 売上高は特定顧客化戦略の推進により、前年値と比較して増加
- 利益面は大型ヘルプデスク案件の業務効率を向上させ大幅に改善

売上高 **47億65**百万円

前年比 9億35百万円(24.4%)の増加

営業利益 **59**百万円

前連結会計年度は営業損失 43百万円(営業利益率1.2%)



ソリューション分野

流通・サービス業向け基幹システム、クレジットカードシステム、Webシステムの開発等

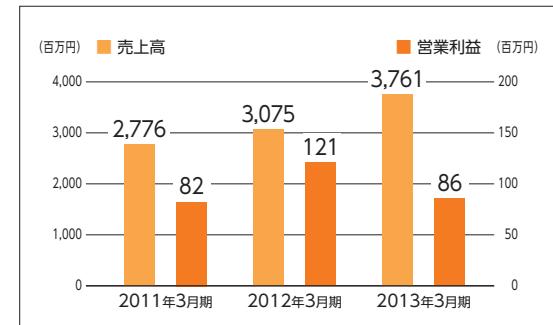
- 売上高は大手POSベンダー向け顧客管理システムの開発や大型MD基幹開発案件により前年値と比較して大幅に増加
- 利益面は大型案件のマネジメントコストの増加や開発コストの増加により利益が縮小した結果、前年値と比較して減少

売上高 **37億61**百万円

前年比 6億86百万円(22.3%)の増加

営業利益 **86**百万円

前年比 34百万円(28.8%)の減少(営業利益率2.3%となり1.6ポイント減少)



プロダクト分野

流通・サービス業向けパッケージ開発、販売等

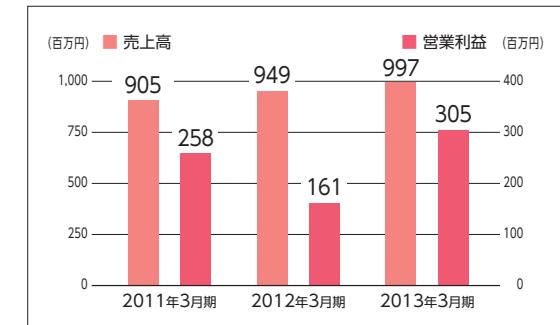
- 売上高はライセンス販売が堅調に推移したことにより前年値と比較して増加
- 利益面はライセンス販売が堅調に推移したことにより前年値と比較して大幅に増加

売上高 **9億97**百万円

前年比 48百万円(5.1%)の増加

営業利益 **3億5**百万円

前年比 1億43百万円(89.1%)の増加(営業利益率30.6%となり13.6ポイント改善)



その他IT関連分野

ハードウェア販売サービス、店舗システム導入展開サービス、その他ITサービス

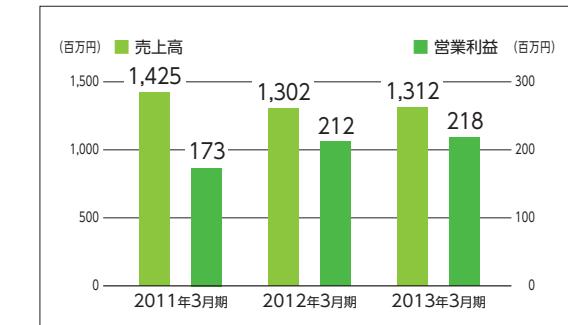
- 売上高はハードウェア販売が減少したが、DM・店舗展開サービスなどの案件が伸び、前年値ベースを確保
- 利益面は売上高増加により一定の利益を確保し前年値と比較して増加

売上高 **13億12**百万円

前年比 9百万円(0.8%)の増加

営業利益 **2億18**百万円

前年比 5百万円(2.5%)の増加(営業利益率16.6%となり0.3ポイント改善)



▶▶ 連結貸借対照表

	当 期 末		前 期 末	
	2013年3月31日現在		2012年3月31日現在	
(資産の部)				
流動資産	4,910,467	3,497,464		
固定資産	1,997,820	1,909,085		
有形固定資産	653,546	574,479		
無形固定資産	671,840	717,420		
投資その他の資産	672,433	617,184		
資産合計	6,908,287	5,406,550		
(負債の部)				
流動負債	2,456,099	1,692,122		
固定負債	671,065	160,511		
負債合計	3,127,165	1,852,633		
(純資産の部)				
株主資本	3,451,236	3,449,855		
その他の包括利益累計額	27,894	△22,122		
新株予約権	15,097	11,620		
少数株主持分	286,893	114,563		
純資産合計	3,781,122	3,553,916		
負債純資産合計	6,908,287	5,406,550		

▶▶ 連結損益計算書

	当 期		前 期	
	2012年4月1日～2013年3月31日		2011年4月1日～2012年3月31日	
売上高	10,836,377	9,156,527		
売上原価	9,017,703	7,681,767		
売上総利益	1,818,673	1,474,759		
販売費及び一般管理費	1,738,438	1,564,671		
営業利益又は営業損失(△)	80,235	△89,911		
経常利益又は経常損失(△)	132,952	△40,388		
当期純利益又は当期純損失(△)	59,532	△36,743		

▶▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

	当 期		前 期	
	2012年4月1日～2013年3月31日		2011年4月1日～2012年3月31日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	116,695	△230,547		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△332,866	△435,104		
財務活動によるキャッシュ・フロー	958,458	△92,647		
現金及び現金同等物に係る換算差額	45,322	△19		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	787,609	△758,319		
現金及び現金同等物の期首残高	777,793	1,536,112		
現金及び現金同等物の期末残高	1,565,403	777,793		

▶▶ 株式の状況 (2013年3月31日現在)

発行可能株式総数 112,000株
 発行済株式の総数 31,565株
 株主数 1,232名

大株主 (上位10名)

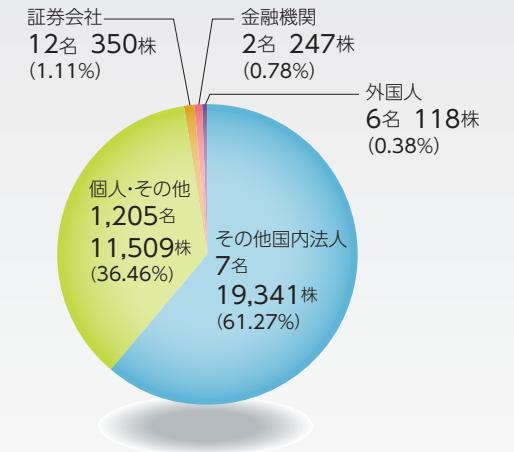
株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
富士ソフト株式会社	19,025株	60.27%
ヴィンキュラム ジャパン従業員持株会	2,136	6.76
相 川 勝 次	958	3.03
城 田 正 昭	484	1.53
ト 部 邦 彦	400	1.26
井 口 興 志 昭	323	1.02
大 西 誠	288	0.91
長 田 光 男	238	0.75
大阪証券金融株式会社	232	0.73
新 岡 弘 行	225	0.71

※持株比率については、小数点第3位を切り捨てております。

▶▶ 会社概要 (2013年6月21日現在)

商号	株式会社ヴィンクス (英文名 VINX CORP.)
設立	1991年2月20日
主要な事業内容	流通・サービス業に特化した総合情報サービスの提供
資本金	5億4,783万1,747円
従業員数	1,348名(連結)、1,121名(単体)
主要な事業所	本 社 大阪市北区堂島浜2-2-8 東京オフィス 東京都千代田区神田須田町2-7 錦糸町オフィス 東京都墨田区江東橋2-19-7 両国オフィス 東京都墨田区横綱1-11-1 幕張オフィス 千葉県美浜区中瀬2-6-1 仙台オフィス 仙台市青葉区中央1-9-33 名古屋オフィス 名古屋市中区丸の内3-18-1 データセンター 大阪市北区堂島3-1-21 幕張監視センター 千葉県美浜区中瀬1-9-1

▶▶ 所有者別株式分布状況 (2013年3月31日現在)



▶▶ 役員 (2013年6月21日現在)

代表取締役 社長執行役員	吉 田 實
代表取締役 副社長執行役員	瀧 澤 隆
取締役 専務執行役員	藤 田 俊 哉
取締役 常務執行役員	大 西 誠
取締役 常務執行役員	木 元 寛
取締役 執行役員	服 巻 俊 哉
取締 役	豊 田 浩 一
取締 役	岡 嶋 秀 実
常 勤 監 査 役	水 口 賢
監 査 役	村 田 智 之
監 査 役	佐 藤 吉 浩